

東京都新型コロナウイルス感染症医療アドバイザー

新型コロナウイルス感染症の患者に対して、迅速かつ的確な医療を提供できるよう、救急医療・災害医療・感染症医療に精通した医師、リスクコミュニケーションに関する学識経験者が、都の要請に基づき助言を行う。

※令和2年7月に設置

日本体育大学大学院 保健医療学研究科 教授	横田 裕行
帝京大学医学部附属病院 病院長	坂本 哲也
杏林大学医学部 救急医学教室 主任教授 東京都災害医療コーディネーター	山口 芳裕
東京大学大学院医学系研究科救急医学教授	森村 尚登
国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長	大曲 貴夫
都立駒込病院 感染症科部長	今村 顕史
放送大学教養学部 教授	奈良 由美子
東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野 教授	武藤 香織
早稲田大学政治経済学術院 准教授	田中 幹人
公益社団法人東京都医師会 副会長 東京都災害医療コーディネーター	猪口 正孝

敬称略

感染症医療アドバイザーの方々には、モニタリング会議に際しての都内の感染状況及び医療提供体制の状況分析をはじめ、軽症者等に係る宿泊療養、患者の円滑な入院受け入れ調整・搬送調整等に対し、様々な専門的な提言や効果的な支援を行っていただいている。


また、アドバイザー就任以前にも、感染拡大の初期から刻一刻と状況が変化する中で、様々な意見交換の場などにおいても数々の助言を受けてきた。

「東京版CDC」における専門家の提言について

新型コロナウイルスへの対応については、これまで東京都新型コロナウイルス感染症医療アドバイザーが救急医療・災害医療・感染症医療・リスクコミュニケーションに関する知見から、モニタリング会議等において様々な提言を行ってきた。

一方、「東京版CDC」では、ゲノム分析、疫学調査、AIを活用したシミュレーションによる感染者数予測等のテーマについて新たな知見を加えることが期待される。

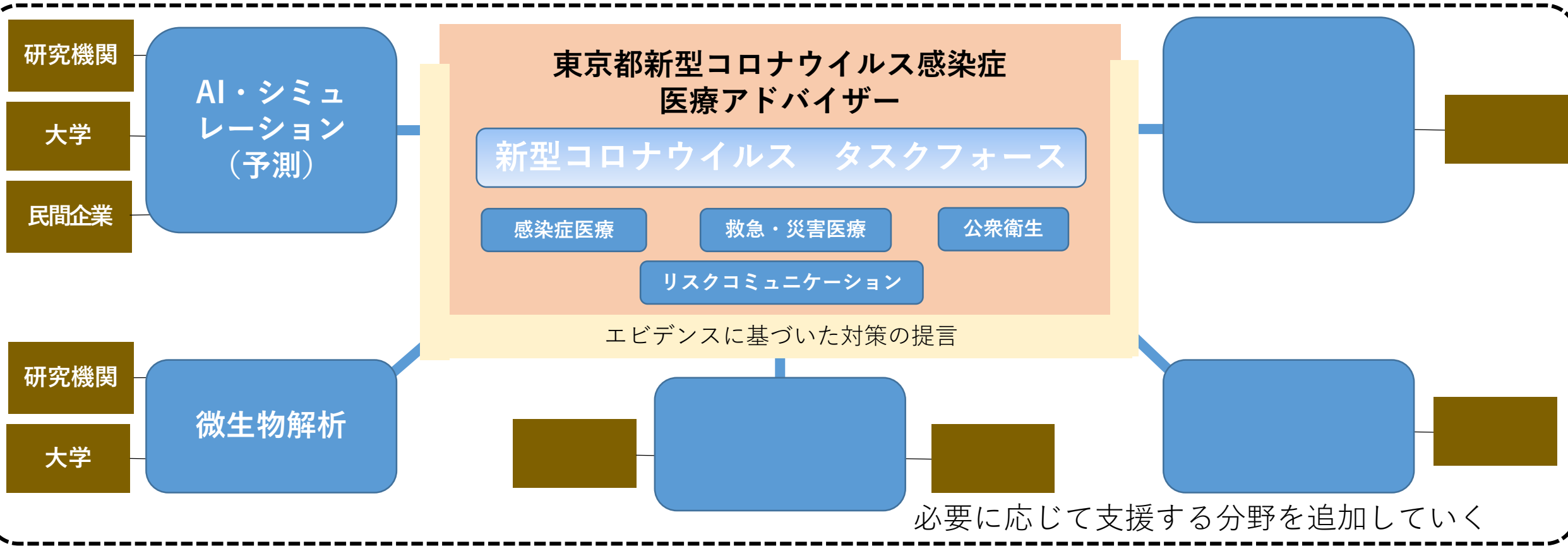
また、今後、新型コロナウイルス以外の感染症に備え、より幅広い分野の知見を活かしていくことも求められる。



東京都新型コロナウイルス感染症医療アドバイザーと連携・協力し、特定分野の専門的知見を補完するため、都の感染症対策全般について助言を行う「専門家ボード」を設置していく

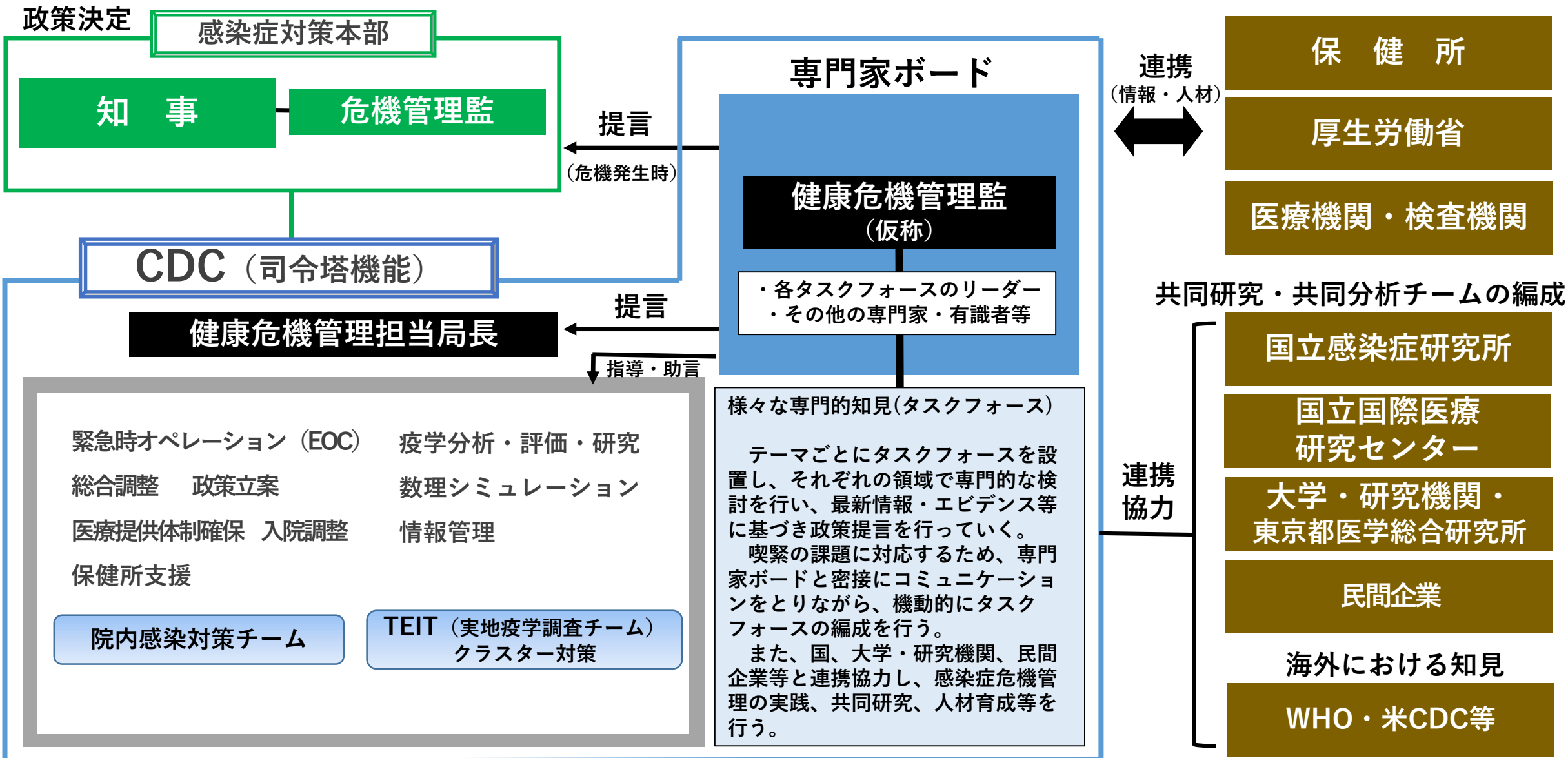
10月CDC立ち上げ後の新型コロナウイルスへの対応イメージ

東京都新型コロナウイルス感染症医療アドバイザーは「新型コロナウイルス タスクフォース」の役割も果たしている。10月CDC立ち上げ後は、東京都新型コロナウイルス感染症医療アドバイザーと各分野の専門家が協力し、専門家ボードを形成していく。

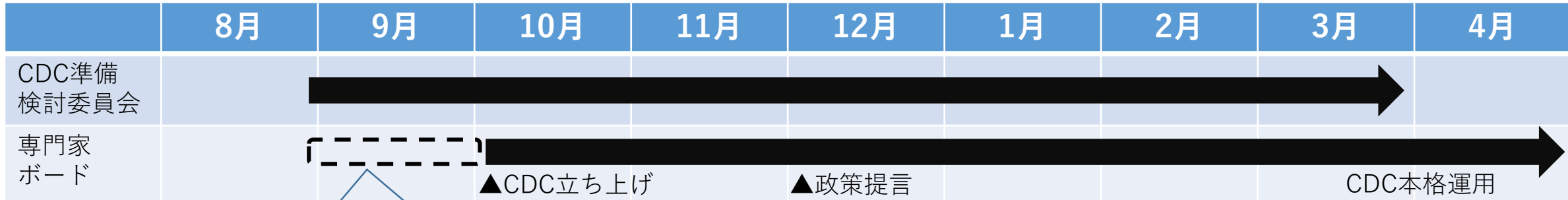


専門家ボード

「東京版CDC」が目指すべき姿



専門家ボードでの課題検討スケジュール



CDC準備検討委員会

先行する検討テーマ

- ◆ 秋冬（第3波・インフルエンザ流行期）を迎えるにあたって政策ターゲットを何にするか？
（例）重症患者数・死亡者数の最小化
- ◆ 政策提言のために、どのようなデータを収集し、どのような分析が必要か？
（例）AI・シミュレーション

先行して検討を開始

検査・診断

感染症診療

専門家ボード

新型コロナウイルス タスクフォース

（新型コロナウイルス感染症医療アドバイザー）

- ・感染症医療
- ・救急・災害医療
- ・公衆衛生
- ・リスクコミュニケーション

検査・診断 タスクフォース

感染者診療 タスクフォース

検討テーマ毎にタスク フォースを機動的に追加

- ※ 今後想定される検討テーマ
- ◇ 疫学・公衆衛生
 - ◇ AI・シミュレーション(予測)
 - ◇ 微生物解析
 - ◇ リスクコミュニケーション 等